

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
自己発見	2 単位 地域を知る	行政学	堀田 学	1 年次	秋

授業のキーワード	行政、地方自治、ガバナンス
授業の概要	現代社会は、行政の比重が多く、「行政国家」といわれることがあります。また、近年盛んなガバナンスの議論では行政は住民とのパートナーとして考えられています。この授業では行政について考え、そこでの住民の役割についても考えていきます。
期待される学習成果（目標）	1. 新聞・ニュース等で取り上げる時事問題が理解できる。 2. 政治学と現代地方自治を合わせて履修するとさらなる理解が深まる。 3. 公務員の仕事をイメージできる。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	行政とは何か、ガバナンスとは何か	授業のオリエンテーションと「行政」・「行政学」についての説明をします。	第 9 講	新しい行政学	NPM 理論やガバナンス論を中心に近年の行政学の動向について説明します。
第 2 講	行政学の起源	行政学の起源を辿り、官房学、アメリカ行政学などの説明をします。	第 10 講	政策評価	政策評価の意義と目的について説明し、実際の行政の取り組みについて見ていきます。
第 3 講	行政学の歴史	アメリカ行政学と日本の行政学について説明をします。	第 11 講	行政広報と情報公開	行政広報と情報公開についての現状と問題点について解説をします。
第 4 講	官僚制	官僚制の理論と日本の官僚制について説明をします。	第 12 講	オンブズマン制度	オンブズマン制度について歴史的な展開と現状について説明します。
第 5 講	行政管理論	行政管理学についての説明をその批判について解説をします。	第 13 講	行政改革	1980 年代からの日本の行政改革を歴史的に見ていきます。
第 6 講	行政組織論	行政組織の編成などについて理論的に考察をしていきます。	第 14 講	公務員制度改革	近年の議論を説明し、日本の公務員制度改革について解説を行います。
第 7 講	行政責任論	行政責任とは何か。説明責任（アカウンタビリティ）と情報公開を中心に考えていきます。	第 15 講	日本の行政の展望	人口減少、財政赤字のなかでの行政について展望します。
第 8 講	地方自治	中央政府と地方政府の関係について見ていきます。	定期試験		重要用語の理解、ならびに各講で取り上げた内容から出題します（記述も含む）。
評価方法		定期試験（100%）で評価します。定期試験の受験資格として3分の2以上の出席が必要なので出席は毎回取ります。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
外山公美編『行政学』弘文堂、2011 年			曾我謙悟『行政学』有斐閣、2013 年 真淵勝『行政学』有斐閣、2009 年 西尾勝『行政学（新版）』有斐閣、2001 年		